



TITLE:

II.広報活動

AUTHOR(S):

CITATION:

II.広報活動. 霊長類研究所年報 1997, 27: 72-73

ISSUE DATE:

1997-11-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/164959>

RIGHT:

Ⅱ 広 報 活 動

1. 夏期セミナー（第8回）

平成8年7月25日（木）・26日（金）の両日、
霊長類研究所会議室において開催した。受講者は
北海道から九州の大学の3・4回生で58名であっ
た。申し込み締切時で92名の受講希望があり、会
議室のスペースから抽選で絞らざるを得なかつ
た。25日は行動神経、社会生態、野外施設、26
日は進化系統、分子生理、サル施設の各部門・施
設がセミナーを担当した。また各部門・施設を実
際に見ると、教官との懇談時間を充分にとるた
め、25日に2時間の所内見学時間を設けた。

2. 公開講座（第12回）

例年通り「霊長類の進化」のタイトルで平成8
年8月22日（木）・23日（金）の2日間に渡っ
て開催した。参加者は教員から学生、主婦など幅
広く61名であった。申し込み締切時には103名の
受講希望があったので抽選により絞らざるを得な
かった。夏期セミナーとともに年々増加する希望
者にどのように対応するかが今後の課題として残
された。講座の内容と講師は以下の通りである。

総合案内	鈴木樹理
8月22日	
「霊長類の利用について」	川本 芳
「脳の発達と加齢」	林 基治
形態・骨学実習	濱田 穰
心理学実習	松沢哲郎
サルの野外行動観察実習	松村秀一
遺伝学実習	平井啓久
8月23日	
「チンパンジーの野外調査について」	加納隆至
「霊長類の脳の働き」	三上章允
実習（22日に同じ）	

3. 市民公開日

平成8年10月20日（日）午後霊長類研究所の
市民公開を行った。犬山市民を中心に32名の参加
者があった。景山 節による研究所案内と杉山幸

丸所長の挨拶の後、松沢哲郎氏による講演「チン
パンジーの知性と教育」があった。終了後サル放
飼場などの所内見学があり、広報委員が分担して
案内した。

4. 講演依頼など

広報委員会を通して依頼のあった講演は以下の
2題である。

- 1) 犬山市図書館サル文庫3周年記念講演会
平成8年7月28日（日） 犬山市図書館にて
講演者 松林清明氏
講演題目「サルにおける動物福祉」
なお同時に行われた展示には資料委員会より標
本などの出品があった。
- 2) 丹羽郡社会福祉協議会主催
ふれあい町づくり10周年記念大会講演
平成8年9月28日（土） 扶桑町文化会館にて
講演者 正高信男氏
講演題目「文化の中の高齢者と子ども」

5. 研究所見学者

広報委員会が対応したものは以下の通りであ
る。

平成8年		参加者
9月6日	東海北陸地区国立学校等教室系 技術職員合同研修	25名
8月7日	犬山市教育委員会 「郷土学習会」	23名
8月12日	茨木市教育委員会	16名
9月17日	京都大学研究所事務長会議	22名
10月8日	岐阜県高等学校教育研究会	20名
10月30日	東京都北区立西浮間小学校教員	4名
11月15日	近畿化学協会 中村 伸氏による講演「ニホンザル の花粉症」も同時に行われた。	24名
11月18日	東海学園女子短期大学	12名

6. ホームページ

広報委員会と情報システム整備委員会の協議を
経て霊長類研究所のホームページが開設された。

アドレスは<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp/>で
ある。運用に関する基本的なことは、ホームペー
ジの内容は広報委員会が、技術的なことは情報委
員会がそれぞれ責任をもって担当することになっ
た。

広報委員会（景山 節、小嶋祥三、鈴木樹理
高井正成、渡邊邦夫、橋本 栄）
（文責：景山）